
ストーリー・ギア

plant

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ストーリー・ギア

【Nコード】

N3864BA

【作者名】

plant

【あらすじ】

広大な土地に佇む学園。

その学園はただの学園ではなく、超人養成学校だった

その学園の生徒管理はとても厳しく、学園土地外に出ることは禁じられている。

その学園の秘密探るべく、風使いの青年が闘う！

1st story

場所も秘密の、ある学園こと。

教室では生徒達が忙しく勉学に励んでいる。

そこで、一人の少年が消しゴムを落としてしまった。反動で、すぐ床に手を近づける。

床に手がつく前に、黒い手袋の手に腕を掴まれた。

「許可を取らずに不穏な動きをとったな？」

その野太い声に少年は心臓が抉られるような感覚に囚われた。

「す、すいません！今からでも許可を・・・」

「もう遅い・・・お前はマイナスポイントだ。」

そう言つて黒い手袋を履いた男は、腰にぶら下げていた大きな辞書のような物を開いた。

そして、あるページで、指をなぞり、指をさしたまま目だけを少年に向ける。

「お前・・・」

少年の額に汗が流れる。

「今回でマイナスポイントが50ポイント溜まってしまったようだな」

「！！・・・お願いします！今回は見逃してください！なんでもします！お願いします！！」

少年は床に手を付き、頭が床につくほどの土下座をした。

周りの人達はこちらには目もくれていない。

「残念だ。お前は今日から3ヶ月、”鬼の間”での生活をしてもらう」

「そんな・・・そつ、んな！嫌だ嫌だ！！絶対嫌だ！僕はいかな

いぞー!!」

その場で泣きつき、机の足にしがみつく。

「逆らうとはな、いい度胸だ。」

少年は一瞬笑顔になった。希望をもった笑顔だ。

そして男は、トランシーバーのような物を胸からはずし、口元に当てた。

「違反常習者を”鬼の間”に転送する。期間は1年だ」

トランシーバーからは声は鳴らず、プツンと切れた。

それを聞いた少年は魂がぬけたような顔をしている。

その男は少年の額に掌をあてた。

そうすると少年はその場から砂が散るようにして消えた。

そして、男もそのように消え、教室の後ろの椅子の元に現れた。

そうしていると鐘が鳴った。授業終了の鐘だ。

先生が片手を上げると、生徒達は立って、礼をした。

そして生徒達はまた座った。

このやり取り授業の始めと終わりにするのがこの学園のルールなのだ。

生徒達は会話を交わすことは無い。

この一風も二風も変わった学園に革命を起こそうとする少年がいた。その少年の名は「アギト」

1 s t s t o r y (後書き)

まだこれは序章、的な物です。

次回から主人公や取り巻きの人物達の物語が始まる。。。といった感じですよ。

ちなみに”鬼の間”については、物語が進むにつれて詳細が明らかになります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3864ba/>

ストーリー・ギア

2012年1月10日00時51分発行